



問 ホッケーの取り組みを問う

答 ホッケーのまち東海村の実現を目指す

問 子どもたちが容易に、かつ安全にホッケー競技に親しむ環境整備の進捗状況は。

答 70周年記念事業として、プラスチック製のステイツクとボールを使用する室内ホッケーの用具（ネオホッケー）を購入し、小中学校での使用に向けて、安全対策を含めたプログラムの研究を重ねてきた。また、子どもたちが日常的にホッケーに親しむことができる仕組みを小中学校と協議を進めている。

答 ホッケーフェスティバルの取り組みは、広く村民がホッ



新政とうかい
川崎 勝彦 議員



小学校でのネオホッケートラベル

ケー競技の魅力を感じられるスポーツイベントを開催する。また、このイベントを契機に、改めてホッケーのまちの推進に努めるとともに、ホッケー関係団体の一層の連携強化も目指す。

問 ホッケーに対する村長の想いは。

答 ホッケーとともに歩んできた東海村の歴史と、次の世代にホッケーを継承することの重要性を改めて認識している。ホッケータウンの認定を通じて全国発信も目指している。

問 幼保・小学校の避難方法の周知は

答 普段から意識付けを行う

問 子どもたちと保護者に対し、自分たちの居る場所と避難場所の位置関係をいかに周知しているか。

答 保護者には入園・入所時に配布する施設のしおりや、年度当初のお便りで避難場所を周知している。また、子どもたちに対して、避難場所までの避難訓練を年1回実施して、避難方法や避難経路を確認している。

答 幼稚園と保育所は入口等の敷地内、小学校は職員玄関や昇降口などに海拔の表示を設置している。日頃から災害時に備え、標高をはじめ施設の状況を理解することは大切、普段から意識付けを行う。



新政とうかい
三上 修 議員



近隣市の小学校付近の標高表示

小学校は土砂災害や水害時に高台へ避難ルートを設定しており、年1回避難訓練を実施している。幼稚園・保育所および小学校の周囲に標高を示す標識を設置、自分たちや保護者が居る場所、避難経路の位置関係が容易にわかるようにすべきでは。